

# ES/1 NEO

MFシリーズ

## V05L23R2

### Release News Letter

## IBMシステム

### 目次

#### 【お知らせ】

ES/1 NEO MFシリーズのサポートについて  
PC製品 サポート終了のお知らせ

#### 【HOST】

資源使用量比較一覧	
リリースニュースレター機能一覧 プロセッサ別	… 1
リリースニュースレター機能一覧 カテゴリ分類別	… 2
MF-ADVISOR	… 3
MF-eASSIST	… 4

 株式会社 アイ・アイ・エム

本リリースニュースレターは、V05L23R2 のリリース内容をまとめたものです。過去のリリース内容につきましては、プロダクトメディア(x:¥Rnl)内のレターをご参照ください。

# 改版履歴

---

日付	版数	内容
2026/4/27	1	V05L23R2 リリース

# ES/1 NEO MFシリーズのサポートについて

各バージョンの通常サポート期間はリリースより 30 ヶ月間です。

バージョンはバージョン、レベル、リビジョンからなり、レベルを基準とします。後継リビジョンのリリースに伴い、旧リビジョンのサポートは延長されます。



図. 製品ライフサイクルのイメージ

<バージョン（バージョン・レベル・リビジョン）の確認方法>

ES/1 実行ログにて確認できます。

例) V05L23R1 の場合

**V 0 5 L 2 x R x**

バージョン レベル リビジョン

```
LICENSEE ----- TRIAL USER
EXPIRATION DATE ----- 2050/12/31
VERSION/LEVEL/REVISION --- 05. 23. 02
```

<今後のサポート予定>

今後のサポート期間について、お知らせします。

バージョン	リリース時期	サポート終了予定時期
V05L23R2	2026年4月	2028年10月31日
V05L23R1	2026年2月	2028年10月31日
V05L22R3	2025年8月	2028年2月29日
V05L22R2	2025年2月	2028年2月29日
V05L22R1	2024年2月	2028年2月29日

<通常サポート中とサポート終了後の違い>

サポート終了後のバージョンも継続してご利用いただけます。

但し、不具合に対応した修正パッチは、最新リリースまたはサポート期間中のバージョンに対してのみの提供となります。サポート終了後のバージョンをご利用中に発生した不具合の対応については、原則として最新バージョンに対応した修正パッチを提供させていただきます。

	サポート期間中	サポート終了後
当該バージョンの継続使用	可	可
製品の使用方法に関するご質問	可	可
不具合発生時の調査	可	可※
不具合修正パッチの提供	可	不可

※ナレッジベースでの調査となります。

<バージョンアップのお願い>

通常サポート期間を終了したバージョンについては、限定的なサポートのみの提供となります。最新バージョンへのバージョンアップのご検討をお願いいたします。

# PC製品 サポート終了のお知らせ

現在、MF-eASSIST でサポートしています次のオペレーティング・システム、アプリケーションを、下記の期日でサポート終了とさせていただきます予定です。

## <サポート終了オペレーティング・システム>

Microsoft® Windows® 10 サポート終了時期：2026年10月末

## <サポート終了アプリケーション>

Microsoft® Excel2016 / Word2016 サポート終了時期：2026年10月末

Microsoft® Excel2019 / Word2019 サポート終了時期：2026年10月末

V05L23R2 では、MF-eASSIST の対象環境は次の通りとなります。

## <オペレーティング・システム>

Microsoft® Windows® 10 (2026年10月末まで)

Microsoft® Windows® Server 2016

Microsoft® Windows® Server 2019

Microsoft® Windows® Server 2022

Microsoft® Windows® Server 2025

Microsoft® Windows® 11

## <アプリケーション>

Microsoft® Excel2016 / Word2016 (2026年10月末まで)

Microsoft® Excel2019 / Word2019 (2026年10月末まで)

Microsoft® Excel2021 / Word2021

Microsoft® Excel2024 / Word2024

Microsoft® 365 Apps (Office®365)

Microsoft Edge

Google Chrome

.NET Framework 4.6.2 以上

# 資源使用量比較一覧

本資料は、ES/1 NEO MFシリーズ V05L23R2 と、以前のリリース (V05L23R1) との資源使用量比較一覧です。  
各項目の意味は以下の通りです。

CPU	以前のリリースと比較し、CPU時間が1割以上増加することがある場合、●としています。 この結果は、入力されるデータにより異なります。
STG	本体 以前のリリースと比較し、使用仮想記憶域が増加した量を示します。 この結果は、入力されるデータには関係ありません。
	データ 以前のリリースと比較し、上記本体の増分以上に使用仮想記憶域が増加することがある場合、●としています。 この結果は、入力されるデータにより異なります。

		V05L23R2 vs V05L23R1		
		CPU	STG	
			本体 (KB)	データ
MF-ADVISOR	CPECNVRT	—	0	—
	CPEPRT00	—	0	—
	CMOSPRTO	—	0	—
	HIBICHKO	—	0	—
	CPEREG00	—	0	—
	SMFPRT00	—	0	—
	CPEDSN00	—	0	—
	RAIDPRTO	—	0	—
	RAIDCNFO	—	0	—
	VOLLST00	—	0	—
CPEMQS00	—	0	—	
MF-MAGIC	CPEDBAMS	—	0	—
	BOXSYS00	—	0	—
	BOXWLC00	—	0	—
MF-SCOPE	JOBANLST	—	0	—
	JOBMONTH	—	0	—
	JOBDTL10	—	0	—
	AUDITPRT	—	0	—
	AUDITMON	—	0	—
MF-PREDICT	PNAVIADT	—	0	—
	PRDIOS00	—	0	—
MF-AUDIT	CPEDSN00	—	0	—
	CPEREG00	—	0	—
	AUDITPRT	—	0	—
MFシリーズ 支援ライブラリ	DSNGSV00	—	0	—
	PNAVIADT	—	0	—
	CPEVASO0	—	0	—
	PAGPRT00	—	0	—
	CPEVOLGP	—	0	—
	CPEAPE00	—	0	—
	CPEVTS00	—	0	—
	CPEVSM00	—	0	—
	DSNGSV00	—	0	—
	TSSCSV00	—	0	—
	CPEVS700	—	0	—
	JOBDSNCV	—	0	—
	VOLCHK00	—	0	—
MF-eASSIST	PNAVICEC	—	0	—
	PNAVJOB0	—	0	—
	PNAVJOB1	—	0	—
	PNAVIVSP	—	0	—
	PNAV1IMS	—	0	—
	PNAVIMSL	—	0	—
	PNIMSFPO	—	0	—
	PNAVCIOS	—	0	—
	PNAVIVTS	—	0	—
	PNAVIVSM	—	0	—
	PNAVIBB2	—	0	—
	PNAVIADT	—	0	—
	PNAVTS70	—	0	—
	PNCICSS1	—	0	—
PNAVISR1	—	0	—	
MF-ZVM	ZVMPT00	—	0	—
	ZVMGSV00	—	0	—
MF-WebSphere	CPEWAS00	—	0	—
	DB2TRC00	—	0	—
MF-DB2	CPEDB200	—	0	—
	DB2TRC00	—	0	—
MF-CICS	CICSPRTO	—	0	—
	CICSTRCO	—	0	—

※本体の使用仮想記憶域の増加が大きい場合、該当の箇所に色を付けて表示します。

例	MF-ADVISOR	CPEPRT00	—	124	—
		CMOSPRTO	—	4	—

- 注意：(1) 本資料は弊社環境 (IBM環境) での結果に基づいています。環境により異なる場合がありますので、参考資料としてください。  
(2) 実行時に仮想記憶領域不足が発生する場合は、OVER16機能をご使用ください。

【OVER16機能 指定方法】 実行するプロセスのJCLに次のような指定を追加してください。  
REGIONサイズの指定は、お客様の環境に応じて変更してください。

```
//SHELL EXEC PGM=CPESHELL, REGION=1024M, PARM=PARM <=追加・変更
//SYSRINT DD SYSOUT=*
//SYSUDUMP DD SYSOUT=*
//SYSUT1 DD UNIT=SYSDA, SPACE=(TRK, (10, 5))
//CPEPARM DD * <=追加
OVER16=SYMBOL <=追加
OSTYPE=OSTYPE <=追加
```

OVER16機能の詳細につきましては「ES/1 NEO MFシリーズ 使用者の手引き 共通編 (IBM / 富士通 / 日立システム)」  
'3.3.2 OVER16機能' をご参照ください。

# 【HOST】機能一覧 プロセッサ別

## 既存プロセッサ

プロダクト	プログラム プロセッサ	分類	項番	項目	非互換	数値 変更	表示 変更	スイッチ 追加	特記事項	参照 ページ	記事 番号
MF-ADVISOR	CPESHELL	拡張	1	SMFレコードタイプ73のCPMFチャンネル測定グループ4、5対応						3	523-201
MF-eASSIST	PNAVICEC	拡張	2	拡張チャンネル情報にCPMFチャンネル測定グループを追加						4	523-202
		拡張	3	SMFレコードタイプ73のCPMFチャンネル測定グループ5対応						5	523-203

### ◇表項目の説明

- 非互換 : 新旧バージョン間で、JCLやパラメータを変更しないとES/1が動作しない場合に●が付きます
- 数値変更 : 本バージョンの適用により出力される値(数値/文字列)に変更がある場合に●が付きます
- 表示変更 : 新規項目追加等により、レイアウトが変更した場合に●が付きます
- スイッチ追加 : 新規スイッチが追加された場合に●が付きます
- 特記事項 : OSのバージョン、対象データなど環境が特定できる場合に明記します

# 【HOST】機能一覧 カテゴリ別

## 既存プロセッサ

### 拡張一覧

プロダクト	プログラム プロセッサ	分類	項番	項目	非互換	数値 変更	表示 変更	スイッチ 追加	特記事項	参照 ページ	記事 番号
MF-ADVISOR	CPESHELL	拡張	1	SMFレコードタイプ73のCPMFチャンネル測定グループ4、5対応						3	523-201
MF-eASSIST	PNAVIGEC	拡張	2	拡張チャンネル情報にCPMFチャンネル測定グループを追加						4	523-202
		拡張	3	SMFレコードタイプ73のCPMFチャンネル測定グループ5対応						5	523-203

### ◇表項目の説明

非互換 : 新旧バージョン間で、JCLやパラメータを変更しないとES/1が動作しない場合に●が付きます

数値変更 : 本バージョンの適用により出力される値(数値/文字列)に変更がある場合に●が付きます

表示変更 : 新規項目追加等により、レイアウトが変更した場合に●が付きます

スイッチ追加 : 新規スイッチが追加された場合に●が付きます

特記事項 : OSのバージョン、対象データなど環境が特定できる場合に明記します

# MF-ADVISOR

## CPESHELL

### 523-201. SMF レコードタイプ 73 の CPMF チャネル測定グループ 4、5 対応

分類			数値変更	表示変更	スイッチ追加	特記事項
拡張	変更	不具合	—	—	—	

SMF レコードタイプ 73 が入力された際、CPMF チャネル測定グループ 4、5 においても下記シンボルに値をセットするようになりました。(従来は欠損値)

<対象環境>

- ・ z/OS 3.2
- ・ z/OS 3.1 (APAR OA66014 適用)
- ・ z/OS V2R5 (APAR OA66014 適用)
- ・ z/OS V2R4 (APAR OA67808 適用)

<CPMF チャネル測定グループ 4、5>

名前	説明
PBUSBUSY	FICON チャネルのバス使用率
SMF73FG5	CPMF 妥当性検査フラグ
SMF73PRU	LPAR 読み取りデータ単位カウント
SMF73PWU	LPAR 書き込みデータ単位カウント
SMF73TRU	合計読み取りデータ単位カウント
SMF73TWU	合計書き込みデータ単位カウント
SMF73US	データ単位のサイズ (バイト単位) -ワード5 この項目は &BIT4(SMF73FG5)=1 の場合にのみ有効。

<CPMF チャネル測定グループ 5>

名前	説明
SMF73EOC	実行された FICON コマンドモード操作数
SMF73EOD	失敗した FICON コマンドモード操作数
SMF73EOS	FICON コマンドモード操作総数
SMF73ETC	実行された FICON トランスポートモード操作数
SMF73ETD	失敗した FICON トランスポートモード操作数
SMF73ETS	FICON トランスポートモード操作総数

# MF-eASSIST

## PNAVICEC

### 523-202. 拡張チャンネル情報に CPMF チャンネル測定グループを追加

分類		数値変更	表示変更	スイッチ追加	特記事項
拡張	変更	不具合	—	—	—

拡張チャンネル情報に CPMF チャンネル測定グループを出力するように PNAVICEC プロセッサを拡張しました。  
 この拡張によるスイッチの追加はありません。

#### 【出力指定】

%PNCHPTG2 CHP=(chp, chp, ...)
-------------------------------

#### 【追加項目】

【拡張チャンネル】レコード名：EX\_CHANNEL

フィールド名	説明
CMG	CPMF チャンネル測定グループ

## 523-203. SMF レコードタイプ 73 の CPMF チャネル測定グループ 5 対応

分類		数値変更	表示変更	スイッチ追加	特記事項
拡張	変更	不具合	—	—	—

CPMF チャネル測定グループ 5 の場合に、以下の情報を出力するように PNAVICEC プロセッサを拡張しました。

この拡張によるスイッチの追加はありません。

<対象環境>

- ・ z/OS 3.2
- ・ z/OS 3.1 (APAR OA66014 適用)
- ・ z/OS V2R5 (APAR OA66014 適用)
- ・ z/OS V2R4 (APAR OA67808 適用)

### 【出力指定】

```
%PNCHPTC2 CHP=(chp, chp, ...)
```

### 【出力項目】

【拡張チャネル】レコード名：EX\_CHANNEL

フィールド名	説明
AVG_BUS	平均バスビジー率
CHNLREAD	合計 READ 処理数
AVG_READ	平均 READ 転送量 (MB/秒)
CHNLWRTE	合計 WRITE 処理数
AVG_WRITE	平均 WRITE 転送量 (MB/秒)
LPAR_CHNLREAD	区画の合計 READ 処理数
LPAR_AVG_READ	区画の平均 READ 転送量 (MB/秒)
LPAR_CHNLWRTE	区画の合計 WRITE 処理数
LPAR_AVG_WRITE	区画の平均 WRITE 転送量 (MB/秒)
MAX_BUS	最大バスビジー率 (%)
MAX_READ	最大 READ 転送量 (MB/秒)
MAX_WRITE	最大 WRITE 転送量 (MB/秒)
LPAR_MAX_READ	区画の最大 READ 転送量 (MB/秒)
LPAR_MAX_WRITE	区画の最大 WRITE 転送量 (MB/秒)